

齋藤弘行教授退任記念号に寄せて

齋藤弘行教授は、1960年に東洋大学経済学部へ赴任され、その後、経営学部設立とともに経営学部に移られ、経営学部の発展のために永らく貢献されました。この間、経営学部にとって中心的な科目である経営組織論を主に担当してこられ、経営学部とともに歩んでこられたと過言ではない存在であります。また、1997年から最近まで、大学院経営学研究科委員長として、経営学研究科博士後期課程の設立とその後の順調な発展のために努力されてきました。

齋藤教授は経営学、経営組織論関係の多数の著書を執筆されるとともに、数多くの論文を発表され、1998年にはこれらをもとに、『経営組織論－その文化性の一考察－』として、学位論文として提出され、東洋大学から博士（経済学）の学位を取得されています。

齋藤教授は最近では企業文化、企業倫理の領域に関心をおもちのようで最近はこれに関連した論文を多数発表されています。

先生は、ユーモア、笑い、洒落、美などに関心をもたれ、経営学をどのようにしたら面白くなるかと考えておられるようです。

東洋大学に赴任してからの期間が短く先生とのお付き合いも短い者が、たまたま、先生のご退任の時期に、学部長の職にあるということでご挨拶を申し上げることになり、先生のお人柄、研究業績、大学への貢献何度について十分に理解していない点多々あるかと思われませんが、ご寛恕願います。

先生がいつまでもお元気で過ごされるよう心からお祈りいたします。

2003年1月31日

経営学部長 飯原慶雄